

令和2年度

定時総会(書面表決)開催について

当会の令和2年度定時総会は、新型コロナウイルスの感染拡大から全都道府県への非常事態宣言が出されたことを受けて、5月12日第1回理事会を書面表決にて実施。そこにおいて「総会を書面表決とすること」を議題として提示し、過半数の賛成を受けて承認可決し、5月26日定時総会を書面表決にて実施した。

協議事項1. 令和元年度事業報告並びに同決算報告に関する件

令和元年度事業計画に基づき、計画された17の講習会、4つの法改正等の説明会、5つの見学会、年4回の会報誌の発行、合同企業説明会の開催、また会員から要望のあったコンクリート維持管理技術講習会の追加実施を含めて予定された事業はすべて実施しました。会議は、新型コロナウイルスの関係から3月に予定された事業運営委員会、総務委員会、理事会を書面表決としました。事業報告、決算報告に関して4月15日監事会を開催し、監査を受けました。

協議事項2. 令和2年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)に関する件

令和2年度事業計画(案)については、基本方針に基づき、19の講習会、5つの法改正等の説明会、4つの見学会、年4回の会報誌の発行、若者への建設業PRとして合同企業説明会の開催などを前年度に引き続き計画しています。表彰事業も例年通り計画しています。これら事業を進めるために会議を、総会、理事会、監事会、事業運営委員会、総務委員会など順次開催します。

事業について新型コロナウイルスの影響から、講習会や見学会、会議など年度初めより中止や延期せざるを得ない状況が続いています。

—— 令和元年度 収支計算書 ——

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	予算額	決算額	差異
会費収入	33,400,000	32,905,000	495,000
入会金収入	100,000	75,000	25,000
事業収入	3,900,000	3,659,642	240,358
雑収入	100,000	19,353	80,647
当期収入合計(A)	37,500,000	36,658,995	841,005
前期繰越収支差額	5,780,000	5,772,644	7,356
収入合計(B)	43,280,000	42,431,639	848,361

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	予算額	決算額	差異
事業費	28,400,000	26,719,702	1,680,298
管理費	9,010,000	8,523,334	486,666
引当預金支出	400,000	400,101	△ 101
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	1,000,000	0	1,000,000
当期支出合計(C)	39,810,000	36,643,137	3,166,863
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,310,000	15,858	△ 2,325,858
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,470,000	5,788,502	△ 2,318,502

—— 令和2年度 収支予算 ——

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

I. 収入の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	差異
会費収入	33,400,000	33,400,000	0
入会金収入	100,000	100,000	0
事業収入	3,900,000	3,900,000	0
雑収入	100,000	100,000	0
当期収入合計(A)	37,500,000	37,500,000	0
前期繰越収支差額	5,780,000	5,780,000	0
収入合計(B)	43,280,000	43,280,000	0

II. 支出の部

(単位:円)

勘定科目 大科目	予算額	予算額	差異
事業費	28,150,000	28,400,000	△ 250,000
管理費	9,050,000	9,010,000	40,000
引当預金支出	400,000	400,000	0
積立預金支出	1,000,000	1,000,000	0
予備費	1,000,000	1,000,000	0
当期支出合計(C)	39,600,000	39,810,000	△ 210,000
当期収支差額(A)-(C)	△ 2,100,000	△ 2,310,000	210,000
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,680,000	3,470,000	210,000

協議事項 3. 役員の任期満了に伴う選任に関する件

技士会の役員の任期は、会則により2年間と定められており、この度、任期満了を迎えます。総会において、新たに就任する会長・副会長・理事・監事の方々を選任いただきます。

役員候補者は、5月12日理事会(書面表決)において承認いただいた、理事26名、監事3名、常務理事1名を候補としています。

(結果 5ページ 新役員紹介参照)

以上3つの協議事項を提示し、5月13日付で全

会員に資料を送付した。

書面表決の結果は、当会の会員数は法人会員133 個人会員 28 計 161

これに対し各事項ともに114件“賛”の回答が寄せられ、70.8%の賛意を得られたため、議案は全て成立しました。(会則第19条)

なお今回の改選により、平成26年5月より会長を務めた伊藤寛治氏(飛鳥建設特別顧問)は退任となり、後任として、寺田光宏氏(東急建設社長)が就任しました。

令和2年度定時総会 書面表決結果

令和2年5月26日

書面表決者	協議事項 1		協議事項 2		協議事項 3	
	賛	否	賛	否	賛	否
法人会員 (133)	105	0	105	0	105	0
個人会員 (28)	9	0	9	0	9	0
合 計 (161)	114	0	114	0	114	0

退任のご挨拶

この度、東京土木施工管理技士会 会長を退任させていただくことになりました。会員、役員、委員、関係団体の皆様にはご支援、ご協力をいただき5年にわたる任期を大過なく務めることができました。新型コロナウイルス感染拡大の影響から総会の開催を見合わせたため、席上にてお会いしご挨拶することは叶いませんでしたが、心より感謝申し上げます。

さて、今の時代、毎年のように大規模自然災害が頻発しており、国土強靱化や都市基盤整備を担う土木技術者の社会的な使命は、ますます重要なものとなっております。

技士会におきましても、今後寺田新会長のもと、土木技術者の一助となるべく、各種事業をさらに展開していくことを期待したいと

思います。

会員の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

令和2年5月

東京土木施工管理技士会

前会長 伊藤 寛治



新役員紹介



会長 寺田 光宏
(東急建設株式会社)



副会長 山田 裕之
(戸田建設株式会社)



副会長 桑原 泰秀
(清水建設株式会社)

技士会役職	氏名	会社名
会 長(理事)	寺 田 光 宏	東急建設株式会社
副会長(理事)	山 田 裕 之	戸田建設株式会社
副会長(理事)	桑 原 泰 秀	清水建設株式会社
理 事	大 田 正 俊	あおみ建設株式会社
理 事	加 藤 一 郎	株式会社安藤・間
理 事	鈴 木 正 道	オリエンタル白石株式会社
理 事	風 間 優	鹿島建設株式会社
理 事	加 藤 岩 男	株木建設株式会社
理 事	高 嶋 正 彦	株式会社熊谷組
理 事	中 村 俊 智	五洋建設株式会社
理 事	鈴 木 正 司	坂田建設株式会社
理 事	川 端 一 知	佐藤工業株式会社
理 事	深 澤 裕 紀	大成建設株式会社
理 事	松 井 秀 一	大豊建設株式会社
理 事	谷 口 和 善	鉄建建設株式会社
理 事	中 村 龍 由	東洋建設株式会社
理 事	稲 葉 靖 規	飛島建設株式会社
理 事	岩 田 耕 一	株式会社ナカノフドー建設
理 事	難 波 正 和	西松建設株式会社
理 事	大 林 匡	日本道路株式会社
理 事	林 清 一	林建設株式会社
理 事	吉 田 篤 史	株式会社フジタ
理 事	西 本 哲 二	前田建設工業株式会社
理 事	奥 村 一 彦	三井住友建設株式会社
理 事	久野木 哲 也	みらい建設工業株式会社
理 事	坂 田 真 一	個人会員
監 事	山 口 政 之	ショーボンド建設株式会社
監 事	長 野 茂 樹	常盤工業株式会社
監 事	佐々木 日出幸	三井住建道路株式会社
常務理事	近 藤 義 弘	東京土木施工管理技士会